

偉人の生涯、鮮やかに

「間宮林蔵一代絵巻」が寄贈されました

市ゆかりの偉人・間宮林蔵の生涯を描いた絵巻など11点が寄



絵巻を鑑賞する片庭市長(左)と秋山さん(右)

贈されました。寄贈していただいたのは、絵巻を描いた画家で故人の秋山桑人(あきやまそうじん)さんの長男・秋山節夫さん(常総市)で、2

月10日には片庭市長から感謝状が贈呈されました。絵巻を鑑賞した片庭市長は「緻密な描写と、鮮やかな色づかひが見事。ぜひ、市民の皆さんにも見ていただきたい」と話しました。市では、今後、展示方法など検討していきます。

谷和原中の橋本さんが表敬訪問

「JA共済全国書道コンクール」農林水産大臣賞受賞で

JA共済が主催する全国小・中学生書道コンクールで「農林水産大臣賞」を受賞した、谷和原中学校の橋本菜依さん(3年)が2月19日、片庭市長を表敬訪問しました。

橋本さんは「条幅の部」で、全国から寄せられた合計11万点を超える応募作品の中から、最高の賞となる「農林水産大臣賞」に輝きました。片庭市長は「力強い筆運びはすばらしいの一言。これからも書道の魅力を表現していつてもらいたい」とエールを送りました。橋本さんの今後の活躍を期待しています。

江戸の町で鬼ごっこ

市商工会青年部主催の鬼ごっこ



ハンターから逃げる子どもたち

こイベント「逃亡中」が2月22日、ワープステーション江戸を舞台に開催されました。

このイベントは、迫りくるハンターから子どもたちが逃げるという、テレビ番組でもお馴染みの企画です。

真冬の空の下、参加した約150人の小学1年生から6年生の子どもたちは、歓声をあげながら、広いワープステーション江戸の中を、寒さに負けず元気いっぱい走り回って楽しんでました。



受賞した橋本さん

小張松下流綱火の沼尻氏文化財保護活動で県教委から表彰

会的发展に尽力されています。

水戸市の茨城県立歴史館講堂で1月22日、平成26年度文化財保護活動における茨城県教育委員会表彰が行われ、小張松下流綱火保存会会長の沼尻正昭氏が、長年に渡る文化財の伝承や、後継者養成の功績が認められ、茨城県教育委員会から表彰状を授与されました。

沼尻氏は、昭和45年に小張松下流綱火保存会に入会し、長きにわたり国指定重要無形民俗文化財である「小張松下流綱火」の保存・伝承・公開そして保存



沼尻正昭氏(左)と家元の大橋健一さん(右)

受け継がれる伝統

小張小で綱火の研究発表会

小張小学校(大藤克義校長)で2月12日、6年生の児童59人が、綱火にまつわる調べ学習の成果発表会を行いました。

この日は、6年生の児童が、人形劇、道具などをを用いながら、自分たちが設定した課題への取り組みの成果を、5年生の児童や綱火保存会の方に発表しました。6年生の発表を受け、会沢碧来さん(5年)は「6年生がやってきたことを引き継ぎ、400年以上続く綱火の伝統を

受け継いでいきたい」と力強く語ってくれました。



研究発表会の様子